



# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



## Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1993-4 *Believe in What You do Do What You Believe in* 行動に信念を 信念は行動に  
1993-4年度国際ロータリーのテーマ/ロバートR・バースR.I.会長

### ●本日の例会

4月15日/第366回例会

### ■卓話 「広告が語るアメリカ」

上智大学助教授 ラクトリン井上 久美 氏



ちやつみ  
茶摘

文部省唱歌

ソングリーダー 佐々木忠行君  
ピアノ伴奏 泉 晶子さん

夏も近づく 八十八夜、野にも山にも 若葉が茂る。  
「あれに見えるは 茶摘じゃないか。 あかねだすきに 菅の笠。」

### ●先週報告

4月8日/第365回例会

### ■卓話 「日本の留学生生活を振り返って」

ロータリー財団奨学生 Ms Selene Ko

### ■会長報告

●東京お茶ノ水RC会員の山野氏、山中氏が認証状伝達式のご案内にお見えになりました。新クラブの誕生を祝し皆様の登録をお願いします。  
(下記参照)

### ■慶事披露

誕生祝い：入沢頼二君(4月9日) 100%出席：高須康有君(5年)

### ■出席報告

●会員72名中/出席43名/欠席29名/ (内出席免除者5名)

4月1日修正出席率92%

ビジター (海外1名・地方1名・都内10名・敬称略) Reiche (Freiburg-Zahringer Germany)/古賀 邑美(伊豆長岡)/上野 毅弘・山中 茂雄  
(以上東京お茶ノ水)/吉田 輝彦(東京葛飾東)/小川 博(東京東)/長島 伸行(東京山の手)/春田 兼司(東京世田谷南)/細谷 義徳(東京日本橋西)大滝 誠三・H. Schmidt・渡辺 三郎(以上東京南)

### ニコニコBOX

順不同、敬称略  
4月8日12件  
¥40,000  
93-94年度累計  
¥1,941,231  
多額の御寄付を有難う  
ございました。

上野 毅弘・山中 茂雄/チャーターナイト(認証状伝達式)ご登録のご案内に伺いました。よろしくお願い申し上げます 古賀 邑美(伊豆長岡RC)/お世話になります 入沢 頼二/誕生日のお祝 ありがとうございます 吉岡 琢磨/お陰様で2年間皆勤出来ました 斉藤 茂之/4/7にH6年度入学式が済みました。入学者1800人でした 渡部 一元/暫く留守いたしました。又宜しく願いいたします 勝山 英司/メイクアップが続きまして 加藤 昌明/桜が満開です 川鍋 二郎/桜の花の美しさを感じいて 廣江 勲/親愛なる同期生の横山さんのウインクにお応えして 横山 秀明/本日ニコニコ担当です。ご協力ありがとうございました

### ●お知らせ

#### ●東京お茶の水RC認証状伝達式

(とき) 5月25日(水) (ところ) 帝国ホテル

登録/15:00~16:00 式典/16:30~17:30 祝宴/18:00~19:30

(登録料) 会員 20,000円 ご家族 15,000円

※ 登録のお申し込みは事務局までお願い申し上げます。

### ●次週予告

4月22日/第367回例会

### ■卓話予定

「日米関係の行方。アメリカの考えは……」

外務省大臣官房人事課長 谷内 正太郎 氏

## 「職業奉仕をテーマとする 第5回クラブ協議会について」

職業奉仕委員長 河原 勢自

と き：1994年4月8日(金)  
13:30～15:15  
と ころ：東京全日空ホテル  
地 階 八雲の間

### 出席者(28名)

吉野 馬場 平井  
廣江 伊部 入沢  
石坂 石崎 梶内  
河原 川鍋 宮本  
鍋島 二宮 齊藤  
佐々木 佐藤 関  
柴本 四分一 田島  
高須 武下 田辺  
渡部 山川 横山  
吉田 (敬称略)

去る4月8日、当クラブ本年度第5回クラブ協議会は、職業奉仕をテーマとするフォーラムの形式で開催された。

上半期に「職業奉仕に関するパネルディスカッション」を行い、その第2ステージとして今回、より具体的、より実践的な検討を加える目的でフォーラムを開催したものである。

前回の討議にもあったように、ロータリーで金看板と言われる職業奉仕というものが何なのか、金看板とは何のことか、どうして金看板なのかという点については、「重要なものらしい。しかし難しくてよく判らない」という程度の対応が大部分のロータリアンの認識ではなかったかと推察する。

パネルディスカッションに際しては会員の皆様に事前の勉強を御願いした。勉強しないで判らないのと勉強してみたが判らないのでは意味合いが全く異なるからである。

前回において会員の方々には、職業奉仕とは職業倫理を全ての事業、職業に採り入れることであり、それが根底にあれば全ての事業は全ての人に意義あるものとして永遠の生命を持ち続けることになるのではないかと根本の理念を幾分かは理解して頂けたのではないかと考えている。

今回は、職業倫理が大切で、それがロータリー奉仕の理想の根幹であることを前提として、実際の職業や事業にどのように反映できるかを検討し、敷衍して頂いた。

大手企業関係の平井、柴本会員、専門職の入沢、武下会員、自営業で伝統技術を守る青野会員、入会年度の新しい梶内会員に意見陳述をして頂いた。

大勢としては、ロータリーの職業奉仕とは事業に高度の職業倫理、規範を採り入れて、その理念を日常の職業活動の基盤として職業や事業を遂行することによって、その職業活動自体が社会奉仕や市民に奉仕することになるという点ではほぼ共通の理解が得られたように思われる。

それぞれ印象に残るお話を頂いたが、紙数がないので一つ二つを記してみたい。

平井会員には所属企業が本来的に持つ倫理節度を前提として、ロータリーの職業奉仕の理想に共感する企業活動に言及して頂いた。

武下会員からは、職業奉仕、職業倫理といわれるものが近来よく唱えられるコーポリットアイデンティティーの問題と同じではないか、広告を業とする者として非常に共鳴できる主題であるとのこと意見を頂戴した。

青野会員は、勉強してみるとロータリー活動の全ての基盤は職業奉仕すなわち職業倫理にあるのではないかと、その根本は個人の人格や倫理感にあるのではないかと、企業や職業が永遠に価値ある存在であるためには七代先の子孫にとって何が正しかったのかというような視点も重要であり、これを根底にして職業を遂行すれば一つの奉仕になりうるのではないかという見解を述べられた。

入沢、柴本、梶内各会員からもよく勉強された上での意見を頂戴した。

最後にパストガバナーの田辺賢三会員より、職業奉仕とは職業倫理であり、職業奉仕という名称が冠せられる以前からロータリーでは大切な命題として掲げられていたこと、職業が奉仕の一つの機会であるということは、職業倫理を根底に置いて自制心、節度のある事業活動を行えばそれが人々の為になるという意味で奉仕の一つのあり方となりうることを、職業奉仕はロータリー活動の理念であるから、すぐ何を奉仕するというものではなく日常の研鑽が重要であること等の重要な示唆を頂戴した。

二回のフォーラムと黒部見学旅行の際の職業奉仕のあり方についての懇話会を通じて「職業奉仕職業倫理がロータリーにとって必須の理念である」と説かれているのだということを少しだけでも感じとれば、当クラブとして職業奉仕理解の一つの方向性が見出せたと言えるのかも知れない。

## 火曜会報告

4月5日 17:30～19:30

アストラルにて

出席者／田辺、田島、佐藤、相澤、柳澤、平井、馬場、大日方、二宮、柴本、渡辺、河原、入沢、広江、吉岡、荒木、青野、田中、横山、川鍋、宮本。

(21名、順不同敬称略)

桜満開の4月第1週の5日、21名の参加を得て、第10回火曜会が全日空ホテル・「アストラル」で開かれました。日が長くなり、37階から眺める都心の展望の素晴らしさに、まず一同が感激。

今回は田島、佐藤の新旧情報委員長の話をメインに勉強を兼ねた会合となりました。

佐藤委員長からは、情報をどのような頻度で伝えるのが有効なのか、また伝達の難しさなどについて、田島旧委員長からは、各会員がロータリーを知る境地まで達する事が重要で、更に楽しむ境地までに至れば、真の「ロータリアン」になれるのでは、とのお話をいただきました。会の後、参加した皆さんは、新会員の方が情報委などを通じ、より早くロータリーを理解していただき、また例会以外の会合にも積極的に参加していただく必要性を改めて感じ取られたようです。

また今回は、火曜会生みの親、田辺会員が久しぶりに出席され、「私が創った火曜会が脈々と引き継がれ、このように生き生きとした、そして楽しい集いとして、FELLOW ROTARIAN 友愛の場として育ってきたことは本当に嬉しく、皆様のお力で、この会が新南クラブのサロンとして拡がりつつ、存在し続けることを、願ってやみません」とのコメントをいただきました。

閉会後は田辺、田島、佐藤3氏にもご出席願ひ、会食の会となり、さらに3次会、そしてまた飲み足りない数名が4次会へと繰り出したようです。(宮本記)

### 東京新南ロータリークラブ

会長：齊藤茂之 副会長：廣江 勲 幹事：吉田用親

〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

### 〈会報委員〉

後藤信夫、相澤成憲、加藤昌明、河原勢自、川鍋二郎、小原 健、横山秀明、関 征春、山下忠治、宮澤 博

●印刷／豊圓堂印刷(株)